

# 組合NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University  
金沢大学教職員組合執行委員会  
金沢市角間町  
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105  
E-mail kanazawa@ku-union.org  
ホームページ http://www.ku-union.org/

2011年8月26日

通巻 1168号

## この号の内容

- 執行委員長挨拶 1P
- 副委員長・書記長挨拶 2P
- 全大教定期大会の報告 3P
- 第46回学童保育研究集会案内 3P
- 教研集会報告 4P

## 2011年度 執行委員、所信表明です。

2011年度  
執行委員長

鷺山 靖



よろしくお願ひします！

2011年度執行委員長を務めます鷺山でございます。このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に心からお悔やみ申し上げますと共にご家族が被災された組合員の方に心よりお見舞い申し上げます。

さて、国立大学法人金沢大学（法人当局）は2009年度・2010年度に二年連続して賃金引き下げを強行しました。2010年度執行委員会は法人当局による昨年12月の賃金・ボーナスの一方的な引下げに反対し、石川県労働委員会にあっせんの申請をおこない、4月12日第4回あっせんにおいてようやく協定書調印に至りました（内容の詳細は組合NEWS通巻1159号をご覧ください。組合NEWSは組合Webサイトからもご覧になれます）。

その協定書第一項には「甲と乙は、団体交渉に関するルールづくりについて、労働協約の締結も含め、双方が誠意を持って交渉するものとする。」と記されています。2011年度執行委員会の第一の責

務は、「団体交渉等のルールに関する労働協約」を締結すること、法人当局に再提案を求めている「平成22年12月期末勤勉手当引下げ及び12月期以降の基本給引下げに対する代償措置」の団体交渉、2010年度の統一要求に対する学長回答・人事課長回答にもとづく団体交渉の実施が急務としてあげられます。2011年度執行委員全員一致団結して前年度執行委員会の取り組みをしっかりと引継ぎ、書記局と連携してあらん限りの力を尽くします。ご期待下さい。

と、勇ましく所信表明いたしました。が、そもそも私に交渉力なるものがあるのかどうか。家族の要求はほぼ100%喜んで丸呑み。愛犬の諸般の要求も誠実に即座に実行。おそらく家庭内交渉力「0」でしょう。大学内交渉力もおそらく。そこで、2011年度も特別執行委員にご支援をいただくとともに皆様のご協力を何卒よろしくお願ひいたします。



## 山上 尚幸

2011年度  
副委員長

2011年度副執行委員長となりました総合メディア基盤センター山上です。

これで何度目かの執行委員ですが、これまでの経験では1年間に組合が取り組むべき課題のうち出来ること、やらなければならないこと、やった方がよいことなどが多く抱えすぎていると思っています。その多くは国家公務員のように国家公務員ではない身分の曖昧さにあるような気がします。給与や身分は国家公務員、それ以外は準公務員または民間のような立場での労働条件について組合活動を進めなければならない点が問題だと思います。

今年度、私は技術職員や事務職員の待遇改善を担当することになります。これまで長い間教室系技術職員の問題にかかわっていました。特に大きな変化もないまま時間が経過し、いつしか教室系技術職員数も減り大学改革の

名のもと個々の教員が個別に研究成果を求められるようになり、研究室や〇〇講座と言う研究組織の単位が小さくなったため、研究室や講座単位に学生実験や研究にかかわってきた教室系技術職員が各教員個別の対応になるか、特定の実験にのみ関わるかなど日々の業務に変化が出てきています。

過去が決して良いとは言えないが、講座単位で研究にかかわり講座配属の多くの卒業生、修士、博士の学生にかかわって日々刺激を受けながら業務を進めていたころの学生は、今の学生さんより積極的でいろいろなことに関心を持っていたような気がします。

「頑張ろう日本」とともに「頑張ろう金沢大学の教職員」と言う気持ちで組合執行委員を務めさせていただきます。皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。



2011年度  
書記長

## 清水 邦彦



2011年度書記長を務めます清水です。これまでは地蔵信仰を中心に日本宗教思想史を研究・教育してきましたが、国際学類担当になってからは、日本文化を中心に教育・卒論指導をしております。

この「転向」は私にとって「先祖返り」と云えます。大学浪人時には、日本文化を学びたく、結果、文化・芸術コースを有するG大学文学部哲学科に入学しました。が、1年4月に配布された<今で云う>シラバスを見ると、文化・芸術コースとは名ばかりで、実質は美術史の授業しかありませんでした。さらに、シラバス配布説明会では、「文化・芸術コースの名前は君らの学年が最後で、来年度入学者から美術史コースになります」と云われる始末。美術史の授業にも出たが、どうしても絵の良さが分からない、、、。1年次5月に退学を決意し、父（研究者）に相談したところ、「既に1年浪人して、もう1年浪人するのはどうだろうか？お前が不本意入学なのは私にも責任があるが（註一詳細省略）、とにかく学

部を4年で卒業して、大学院で好きなことを研究しろ。学費等は全て私が出す」と云われ、哲学・思想コースに配属されることとなった。そんな父は、私が大学2年生の夏に亡くなり（享年55才）、なんとか母を欺して、T大学大学院日本文化研究学際カリキュラムに進学して、今日に至る。なので、現在、国際学類生に日本文化を教育・卒論指導しているのは、私にとって、「先祖返り」と云えます。

というのはどうしても良い自己紹介であって、要は私が労働法等に素人なのを皆様に理解していただければ良い訳です。書記長内定時から労使交渉に出席しましたが、大学側の提案は時に労働法を制限するものです。これは、学長の委任を受けた脇坂理事の発言であり、中村学長の意図と見なせるのではないかと（コンプライアンスの説明を中村学長と脇坂理事は受けるべきである）。

この状況を打破するためには、組合員皆様のお知恵とお力が必要です。どうかよろしく申し上げます。

# 全大教定期大会に参加して

7月30日(土)、31日(日)の二日間、全国から代表者が集まり、東京で全大教の定期大会が開催されました。

さる7月30、31両日にわたり、全大教第43回定期大会が東京台東区柳橋の東京文具共和会館で開催され、石黒が金沢大学教職員組合を代表して参加しました。

まず本年度の「賃金引き下げ問題」に関する総括が行われました。困難な状況を突破していくつかの代償措置をかちとった単組の事例が報告される一方、組合の賃下げ阻止運動の前に立ちはだかるのは政府という以上に、「公務員バッシング」という国民感情なのではないかという観点が浮かび上がりました。

これは非常に慎重な対処を要する問題ですが、国民感情と連帯しない限り労働運動の前進はあり得ないという基本線は確認されました。

またこの状況を打開するにあたって全大教が果たすべき役割という点から、従来より共同する他団体との連携の強化に加え、「大学・高等教育の充実を目指す

アピール署名」に取り組むことの「戦略的意義」につき、各単組のレベルでの理解を深めることが求められました。



またこうした連携の裾野の拡大による、全大教の全国的発言力の育成のため、教育問題研究の場としての「大学・高等教育研究会」の機能強化を執行部が強調したのは注目されます。

2011年度の重要課題はもちろん公務員給与10%削減問題ですが、国会の現状等もあり一時的に棚上げ状態に置かれています。但し事態の急変に際しては、単組代表者会議の緊急実施をはじめ適切な対処策を練っていることが確認されました。

(2010年度書記長 石黒盛久)

## 第46回全国学童保育研究集会のご案内

10月22日(土) 13:30～17:00 全体会 いしかわ総合スポーツセンター  
15:30～17:00 記念講演 自然・人との豊かな関係性がはぐくむ希望 金森俊朗氏

10月23日(日) 9:00～15:30 分科会 金沢大学 角間キャンパス

※29ある分科会の中から希望する分科会をひとつ選んでご参加下さい。

- ・障害児を含めた生活づくり-実践の交流と確かめ- 助言者・河合隆平(金沢大学)
  - ・子どもの生活と地域・文化 講師・諸岡康哉(金沢大学)
  - ・社会保障・児童福祉・「新システム」の動向と課題 講師・横山壽一(金沢大学)
- 他、26分科会

みんな来てね!



皆様、ぜひご参加下さい。  
資料は組合事務所にあります。



# 教研集会 報告

テーマ

国立大学法人における  
賃金交渉を考える



7月22日の夕刻、教研集会「国立大学法人における賃金交渉を考える」が開催されました。

集会は、喜成委員長と熊大教職組伊藤正彦委員長による報告の後、40名ほどの出席者が活発に意見を交換し合う場となり、内容的にも大変興味深いものでした。特に印象深かったのは、伊藤委員長により報告された熊本大学教職員組合の独自の取り組みです。

熊大教職組は附属病院で特定有期雇用職員390名を正規職員化するなど全国的に先進的成果を挙げている組合として知られています。

賃金交渉に関する熊大教職組の取り組みにおける特徴は、独自の情勢・政策分析に基づく粘り強い交渉により、熊大の教職員の賃金が官民格差の是正という人勸の趣旨に照らしても不当に低く押さえられていることを大学側に認めさせ、その改

善を労働協約の中に明記させていることにあります。

熊大の賃金問題は、一部学部の人件にも影響が及んでいるようです。教授公募に際して、採用が決まる直前の段階で給与について知ることとなった候補者が、採用を辞退し、賃金条件の良い私学へと逃げるといった事態がこの間何例も発生しているというのです。

このような事態は、熊大に限ったものではなく、金大でもすぐに起きても不思議でないものと危惧されます。

これは賃金問題が大学における人材確保という点からも、大学の将来に深響を及ぼすという象徴的な例であり、この間の賃下げに対する金大での団体交渉でも、組合側から指摘してきた点の一つでした。

財政難を理由とし、教職員の訴えに耳すら傾けようとしないこの間の大学法人側の姿勢は、今後の金沢大学における人材確保の危うさを予想させるものと今回の話を聞き改めて考えさせられました。

報告にあった熊大での様々な取り組みは、金沢大学における今後の賃金交渉のあり方に対しても大いに参考になるものであり、これからの組合活動中に生かしていければという思いを強くさせる有意義な集会でした。

(2010年度副執行委員長 末松大二郎)



き り と り せ ん

## 金沢大学教職員組合 加入申込書

ふりがな \_\_\_\_\_ 申込日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 氏名 \_\_\_\_\_ (男・女) \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
 所属部局 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_  
 連絡先 電話番号 \_\_\_\_\_  
 E-mail \_\_\_\_\_ (職場・個人用)  
 組合費  チェックオフ(賃金控除)【通常はこちら】 8桁の職員番号  
 チェックオフ以外の方法を希望 ( \_\_\_\_\_ )

記載された個人情報、組合が適切に管理し、組合員名簿に記載する他、組合からの各種ご案内に利用させていただきます